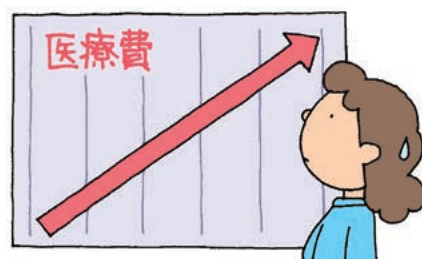


医療費の増加を防ぐ お医者さんへの掛かり方

増え続ける医療費とともに、救急医療などの現場負担が過重になっていることも問題となっています。安心して医療を受けるために、私たちにできる対策はあるのでしょうか？

医療費の節約は待ったなしの課題です

社会の高齢化や医療技術の進歩、生活習慣病など慢性疾患の増加など、様々な理由で医療費は年々増加傾向にあります。このまま増え続けると、家計を圧迫するばかりでなく、安定した保険医療の確保も危ぶまれます。少ない自己負担で充実した医療を受けるために、私たち患者の立場からも、できることから医療費の節約に取り組む必要があります。



対策 1 「時間外受診」を減らしましょう

休日や夜間などの時間外受診は、割増料金が掛かり医療費の増加につながります。外来診療では、個々の医療機関が定めた診療時間以外に受診すると、その時間帯によって診療報酬の点数が加算されます。また、早朝や夜間などに開業している一部の診療所では、診療時間と定めている時間内であっても「夜間・早朝等加算」の算定があります。



こんな理由による夜間・休日受診はやめましょう

- 通常の受診時間よりもすいていることが多く、待ち時間が短いから。
- 医療費に割増料金が上乗せされても、経済的に余裕があるから。
- 仕事が忙しく、昼間よりも遅い時間や休日の方が便利だから。
- 翌日の受診で大丈夫だと思いが、万が一のことが心配だから。



時間外受診による加算の目安

「時間外加算」：AM6：00～診療開始時刻、診療終了時刻～PM10：00
「深夜加算」：PM10：00～翌日のAM6：00
「休日加算」：日曜、祝日等
「夜間・早朝等加算」 (早朝や夜間などに開業している一部の診療所)： AM6：00～AM8：00、PM6：00～PM10：00 (土曜：正午～PM10：00、日曜、祝日等： AM6：00～PM10：00)

小児救急電話相談(# 8000)を知っていますか？

休日や夜間に急に子どもが体調を崩した場合は、小児救急電話相談(# 8000 又は ☎ 011-232-1599)を利用してみましょう。小児科の医師や看護師から、症状に応じた適切なアドバイスが得られます。

※小児救急電話相談の利用時間は毎日午後7時～午後11時です。



対策2

「重複受診（はしご受診）」をやめましょう

安易な理由で受診する病院を変える「重複受診（はしご受診）」は避けましょう。「初診料」を再度支払うだけでなく、既に受けた検査を繰り返すことにもなります。同じ薬を処方される可能性も高く、繰り返すごとに医療費の無駄となります。

もし重大な病気と診断され、治療方針などに対して主治医以外の意見を聞きたい場合には、遠慮せず「セカンド・オピニオン」を申し出ましょう。主治医は「診療情報提供料(Ⅱ)」を算定し、必要な情報を添付したいいわゆる「紹介状」を作成してくれます。



大切なインフォームド・コンセント

インフォームド・コンセントとは、医師が患者に十分な説明をした上で患者自身が治療法を選択することです。患者は積極的に質問し、不安を解消してから治療に臨みましょう。

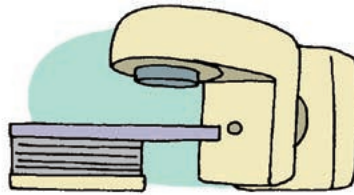
検査を受けるとき

- 何を調べる検査ですか？
- 時間はどのくらい掛かりますか？
- 検査に苦痛や危険は伴いますか？



治療を受けるとき

- どのような治療ですか？
- ほかにどのような治療法がありますか？
- 治療期間はどのくらい掛かりますか？



その他

- 完治までの費用はどのくらいですか？
- 何に効く薬ですか？
- ほかの医師の意見も聞きたいのですが？



対策3

「ジェネリック医薬品」を利用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、特許期間の過ぎた新薬（先発医薬品）と同じ有効成分を持った低価格な処方薬で、薬代の節約に役立ちます。

ジェネリック医薬品が安い理由は、新薬の開発では膨大に掛かる研究開発費を低く抑えられるため。薬事法の厳しい基準をクリアしており、品質への心配は無用です。変更を希望する場合は、診察を受ける医師や調剤してもらう薬剤師に相談しましょう。



ジェネリック医薬品に変更するときの留意点



「自分の意思を伝える」

新薬からジェネリック医薬品への変更を希望する意思を、医師や薬剤師に明確に告げましょう。

「薬の説明をきちんと聞く」

複数のジェネリック医薬品がある場合など、薬の特徴の説明をきちんと聞き、納得してから選択しましょう。

「お試し調剤から始める」

飲み慣れた薬の変更には不安があれば、とりあえず1週間といった短期間の「お試し調剤」から始めてみましょう。

「変更できないことも」

全ての新薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。医師の判断で変更不可になることもあります。